

理学談話会 (物理)

日時：2017年2月23日（木）16:30～18:00頃
場所：自然科学5号館 2階 大講義室

講演者：石渡弘治（理工研究域 数物科学系）

題目：素粒子物理学への好奇心

私が専門とする素粒子物理学は、しばしば、日常とかけ離れた難しい学問と言われます。しかし私は、日常とかけ離れた学問と思って素粒子物理学の世界へ進んだわけではありませんでした。本講演では、私がどのように素粒子に興味を持ったのかから話を始め、素粒子物理学の最前線とともに、私が学生の頃から着目していた宇宙暗黒物質の研究についてお話しします。

講演者：柴田幹大

（新学術創成研究機構・革新的統合バイオ研究コア・高速バイオAFM応用研究ユニット）

題目：高速AFMを用いたナノバイオイメージング

生物が活着ている時に示す固有な現象（生命現象）のほとんど全ては、タンパク質の働きに基づいている。そのため、タンパク質が働く仕組みを解明することは、例えば、ヒトの思考・情動・病気の解明など、あらゆる分野に影響を与える。我々は、タンパク質が働く姿を直接可視化するというアプローチで、その仕組みの解明を目指しており、特に、液中環境でナノメートルの高い空間分解能を持つ高速原子間力顕微鏡（AFM）の開発・応用研究を推進している。講演では、高速AFMにより得られた最近の研究結果について紹介したい。

担当：米徳大輔 (内線：5672)